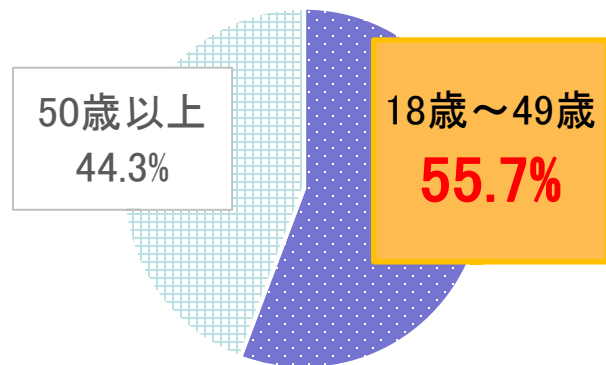


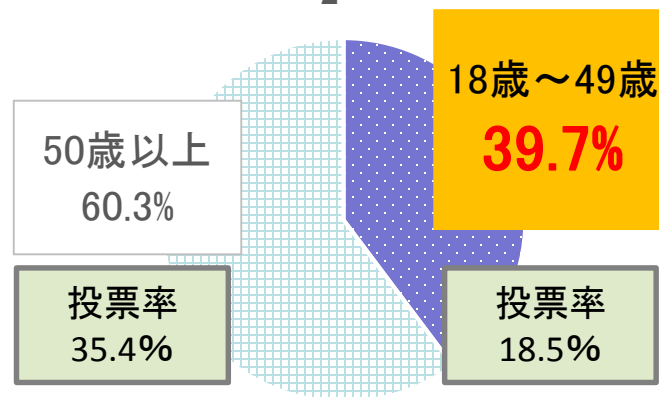
今までの投票行動のままでは、 若者・子育て中心世代の声を届けるのは難しい

新宿区の次期区長選挙における有権者数および 投票者数に占める世代別割合（見込み）

有権者数における
世代別割合*1



実際の投票時の
世代別割合
*2



「若者・子育て中心世代（18歳～49歳）*3」の人口は、
有権者数の過半を超えているにもかかわらず、投票率が低いため、
投票者数においては全体の4割程度と、少数派になっている

*1 平成30年10月1日時点の自治体人口統計（年齢別）より算出

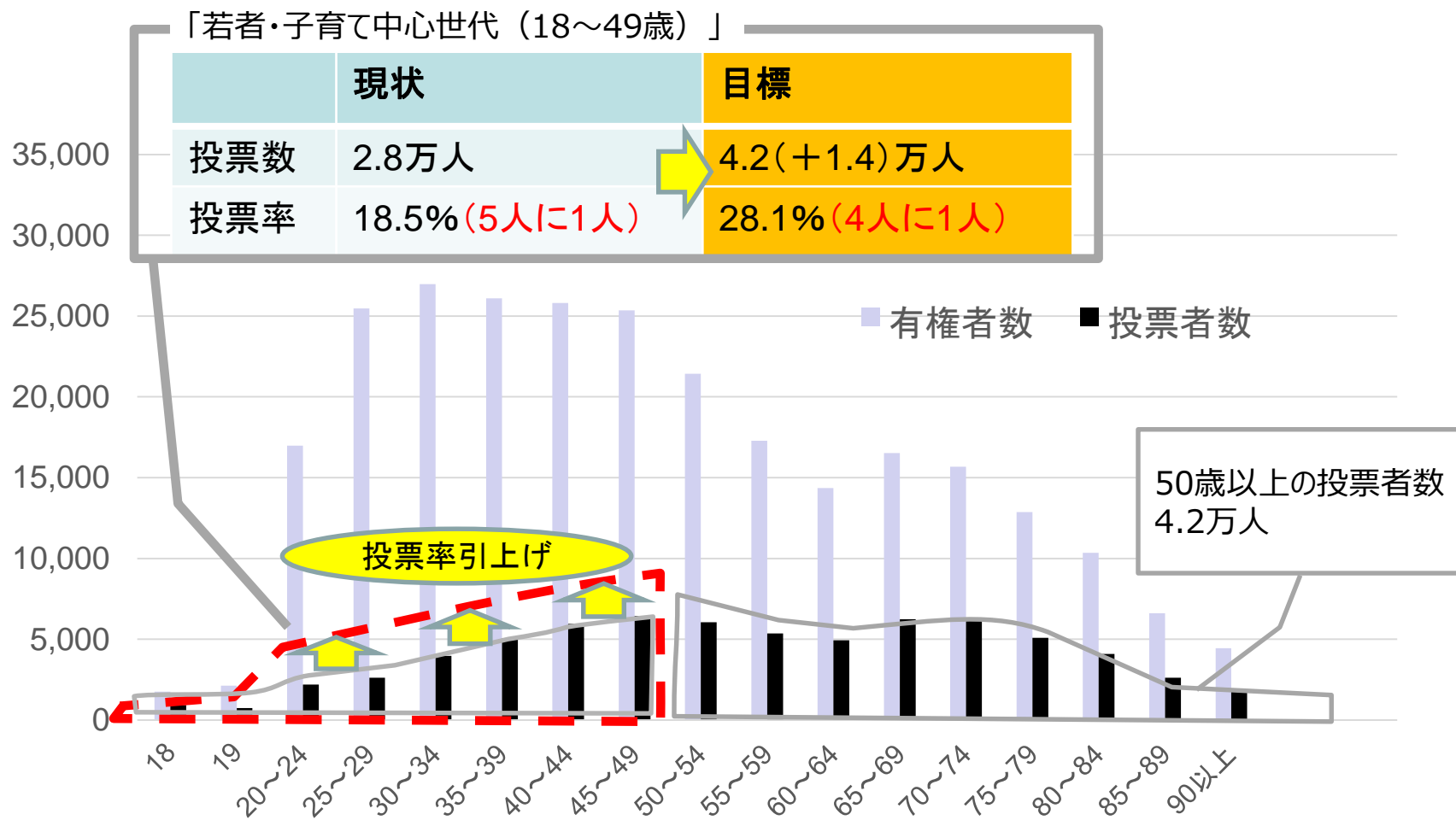
*2 *1の年齢別人口×直近の新宿区長選（平成26年11月9日）、及び前回都議会議員選挙の年齢別投票率より算出

*3 平成27年厚生労働省人口動態調査における第1子出生時の平均年齢（母30.7歳、父32.7歳）、および合計特殊出生率の算出対象（15～49歳）より当会にて定義

出所)
新宿区年齢別人口統計
新宿区選挙管理委員会「選挙の記録」

若者・子育て中心世代の声が過半数を占めるためには？

新宿区の次期区長選における年代別有権者数と投票者数（見込み）



「若者・子育て中心世代」の投票率を
現在の“5人に1人”から“4人に1人”に増やせば過半数をとれる